

中学生の皆さんへ

西宮市教育委員長

井ノ元 由紀子

つながりの中で心を磨いて

「人は決して一人ではない。誰かに支えられて生きている、誰かとつながって今の自分がある。」…この夏、夢や目標に向かって全力でプレーしたオリンピック代表選手の多くが、試合後のインタビューで、メダルを獲得できた理由として語っていました。私たちも、あの東日本大震災の日から、悲しみを乗り越え、復興に向けてともに生きていく中で、あらためてそのことを感じています。

中学生という多感な時期にいる皆さんは、学習のこと、部活のこと、友達や家族のこと、また自分自身の進路のことなど、様々に揺れ動くことが日々あることと思います。

誰かと思いがぶつかって、「どうせ自分なんて」と思うことがあるかもしれません。でも、この世に必要な人など、絶対にいません。みんな大切な一人なのです。皆さんの命は、お父さん、お母さんはもちろん、多くの人たちの命のバトンを受けついで生まれてきた命なのです。そして、今日まであたたかく見守られ、支えられ、育まれてきた大切な命なのです。決して自分だけの命ではありません。

時には、夢や目標を見失ったり、自分の思いとは違う現実にはぶつかったりして、悩んだり心が揺れたりして自分が小さく見えることがあるかもしれません。でも本当は、皆さんは心の中にたくさんの可能性をもって生まれてきた「未来の宝」なのです。

ここで大事なことは、未来をつくるのは自分自身の「心」であるということです。どんな環境や状況であれ、その中に希望を生み出していくのも、環境や状況を変えていくのも自分の心です。「心」を強くすることに、努力して行って欲しいと思います。

そのために、友達や地域の人たち、社会に生きる様々な人と出会い、ともに生きる中で、どんどん生き方を学んでいってください。体験を通し、様々な場面で自分の心と向き合い、負けない心、努力する心、思いやりの心、夢や目標をみつける心など、自分の心を磨いていってください。そして、もしも自分の周りに、悲しみに押しつぶされそうな友達や悩んでいる友達がいたら、そばにいて一緒に話を聞いてあげてください。そのこと自体が生きる励ましになり、それは、いつかきっと自分にもかえってくることと思います。

西宮市に学ぶすべての中学生の皆さんが、夢や目標に向かって、友達とともに生き生きと学び育つことができるよう、心から願っています。